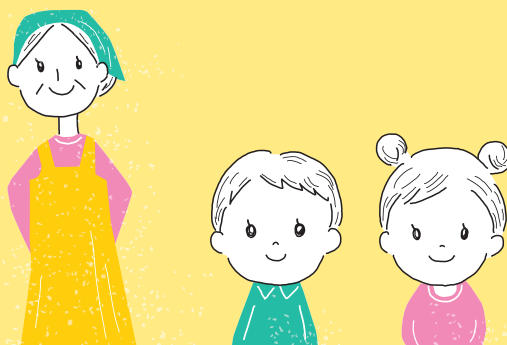


つながるスイッチ!! 久留米市社会福祉協議会



vol.23

おにぎり食堂の会

(荒木校区の取り組み①)



荒木校区では、毎週月曜日7時～8時に、久留米荒木キリスト教会で「おにぎり食堂」が開催されています。「おにぎり食堂の会」の皆さんに、活動の様子や想いなどを語っていただきました。

荒木地区主任児童委員

廣重 深幸さん

古賀 勝子さん

荒木地区民生委員児童委員協議会

会長 高田 力ヨ子さん

荒木地区民生委員児童委員

津留崎 洋子さん

ボランティア

深川 和美さん

近藤 祥子さん

久留米荒木キリスト教会

牧師 溝上 哲朗さん

「おにぎり食堂」が始まるまで

● 廣重さん

小学校に出向いた際、先生から、しっかり朝ご飯を食べていない子どもたちがいる現状を教えてもらいました。何か子どもたちのためにできないかと考えましたが、大掛かりなことではできない。ただ「おにぎり」と味噌汁を出す「おにぎり食堂」ならできるかもしれない!と思い立ち、動き始めました。民生委員

の皆さんやお友達などにも声をかけ、協力者を募り、令和5年8月から活動をスタートしました。

● 古賀さん

子どもたちにおにぎり食堂の存在を知ってもらうため、小学校にも協力いただき、手作りのチラシを全校児童に配りました。

● 廣重さん

食堂の場所は、久留米荒木キリスト教会の溝上牧師に相談したところ「ぜひ使ってください」と快諾いただきました。教会は小学校のすぐ近くで、子どもたちの通学路です。多くの人の協力のもと活動を始めることができました。

活動の現状、感じること

● 深川さん

おにぎり食堂の日は、朝6時から仕込みをしています。食堂をスタートした当初は5～6人の子どもたちが利用してくれていましたが、徐々に利用してくれる子どもたちが増え、今では25人分くらい準備しています。

● 廣重さん

食材は地域の人や「荒木農家盛り上げ隊」等から提供いただいています。

● 高田さん

メニューは好きな味のおにぎりとお味噌汁のおかずが乗ったプレート、そして味噌汁です。当初はおにぎりとお味噌汁のみでしたが、提供いただける野菜なども

増え、どんどんメニューが増えていきました。お味噌汁のだしも前の晩からいりで仕込んでいます。お味噌も手作り、美味しいと好評です。家ではあまりご飯を食べないというお子さんが、おにぎり食堂では食べてくれるという話を聞きました。また、ある保護者から、れんこんの炒め物の作り方を教えて欲しいと尋ねられました。お子さんがここで食べたれんこんの炒め物が美味しかったと家で話していたそうです。

● 廣重さん

この食堂では美味しい温かいものを食べてもらいたいですね。おにぎりは毎回3～4種類の味を準備しています。好きな味を選ぶ楽しさもあります。

● 古賀さん

わざわざ駆け寄ってきてくれて、美味しいと言ってくれる子どもたちもいます。この食堂が子どもたちの「居場所」



登校前の子どもたちでにぎわっています



ある日のおにぎり食堂でのメニュー

になってくれたら嬉しいですね。学校とは違うコミュニケーションや出会いの場であってほしい。アットホームな環境で誰かと食事をするのは楽しいんだよ、と感じてほしいです。

●津留崎さん
小学校の先生が、見守りに来てくれることもあり。学校との協体制ができています。食堂を開催しているのは毎週月曜日。休み明けで学校に行きたくないと思っている子どもも多いです。おにぎり食堂のご飯を楽しみに学校に行こう！と思ってもらいたいです。

●溝上さん
先日、ある子が「ここが僕たちのおにぎりのところ！」と教会のことを説明しているのを聞きました。僕「たち」という表現に驚かされました。みんなでご飯を食べているという気持ちが根付いているのだと感動しました。

活動を通して思うこと、これからのこと

●深川さん

この活動は無理せず、長く続けていきたいです。子どもたちが楽しく過ごしてくれることが一番。家で一人きりでご飯を食べていたりなど、本当に困っている子はもっとたくさんいるはずです。今後、そういう子どもたちにも手を差し伸べていきたいです。

●古賀さん

必ず、食べ終わって学校に向かう子どもたちを、「いってらっしゃい」と明るく送り出しています。子どもたちも皆、「いってきます」と元気に登校していきます。子どもたちには、積極的な声かけを心がけています。コミュニケーションがこの活動のやりがい、喜びを感じるひとときです。

●津留崎さん

起きるのが苦手なので目覚まし時計を3個セットして、早起きしています。料理も得意ではないのですが、この活動のお手伝いをしたくて関わらせてもらっています。今後は、子どもたちだけでなく一人暮らしの高齢者に向けた食堂もできたらいいなと思っています。

●高田さん

想いはあっても実際に行動に移すことは簡単なことではありません。微力ではありますが、これからも私にできることを協力していきたいです。

●溝上さん

このおにぎり食堂は、子どもたちにとって「自分が大事にされている」と思うことができる場所ではないでしょうか。こういった場所がもっと増えるといいですね。

●近藤さん

はじめの頃は表情が硬く、口数も少なかった女の子が笑顔を見せるようになったり、お話ができるようになったことがとても嬉しいです。薪ストーブをたいて暖かい会場を準備していただいたり、新鮮な野菜やその他の食材を毎回届けていただいたりしています。心があたたかくなるような月曜のひと時に参加できることを嬉しく思っています。

●廣重さん

皆さんの協力があつてこそできている活動です。この食堂をきっかけに協力者が増えたり、他のエリアに食堂ができたり：この食堂から「つながりの輪」が広がれば嬉しいです。また、休みの日のお昼に、子どもたちと一緒に「おにぎり作り」も思っています。自分たちで好きな食材を使って、おにぎりを作る。簡単なおかず作りなども。そうすることで、家族が忙しい時でも自分でご飯を作ることができます。体に良いものを食べる食育にもつながれば理想的です。夢はどんどん膨らみます！

取材を終えて

初の早朝7時30分からの取材。インタビュー前に、実際におにぎり食堂の朝ごはんをいただきました。ダシがしっかりと効いた具沢山の味噌汁、野菜たっぷりのおかず、大きなおにぎり。美味しさに感動しました。食堂内では会のメンバーさんたちが子どもたちに積極的に声かけをし、「いってらっしゃい」と学校へ送り出す、まるで大きな1つの家族のような空間でした。取材後、私も「いってらっしゃい」と送り出していただき、美味しいご飯とスタッフの皆さんのあたたかい気持ちで、お腹も心もエネルギー満タンになった取材となりました。

おにぎり食堂は、いつでも見学OKです。お手伝いいただける方も随時募集しています。



近藤 祥子さん 高田 カヨ子さん 深川 和美さん 溝上 哲朗さん
古賀 勝子さん 廣重 深幸さん

この取り組みには市子ども食堂事業費補助金も活用されています

- 小学校との連携をきっかけに活動をはじめ
- 場所や食材の提供など、多くの協力者のもと取り組んでいる
- 子どもたちの居場所になるよう取り組んでいる
- 子どもたちに「いってらっしゃい」と明るく声かけ送り出す

久留米市社会福祉協議会

〒830-0027 久留米市長門石1-1-34
TEL:0942-34-3035 / FAX:0942-34-3090
メール:heartful@heartful-volunteer.net
HP: http://www.heartful-volunteer.net

久留米市社会福祉協議会

検索

webサイト

[note——つくる、つながる、とどける。]で「つながるスイッチ!!」を検索してください!
#久留米市 #社協 #地域 #福祉 #地域福祉 #支え合い
#子ども食堂 #朝ごはん

つながるスイッチ!!はHPでもwebマガジンでも掲載中